

保育計画成果報告書

法人名	社会福祉法人みのり福祉会
施設名	幼保連携型つきかげ認定こども園
報告者（役職）	黒川 恭眞（園長）
住所・連絡先	兵庫県神戸市北区藤原台中町2丁目5-1
	☎ 078-987-4154
	E-mail nakagawa@tsukikage-kobe.jp

○タイトル（保育計画）

こころの根っこをひろげ、感性・想像力を育み、社会の一員として生きる力を養う

○主な助成備品

パーテーション、おもちゃ棚、楽器（メタルホン・ザイロホン・ハンドベル）
大型絵本、紙芝居、テーブル、エプロンシアター、パネルシアター

1. 保育計画策定の目的

園児の生活や遊びといった直接的・具体的な体験を通して、人とかかわる力や思考力、感性や表現する力などを育み、人間として、社会とかかわる人として生きていくための基礎を培うようにするには、園児一人一人の潜在的な可能性を、日々の生活の中で出会う環境によって開き、環境との相互作用を通して具現化していく。

また、充実した教育及び保育を提供できるように、再度、日々の保育環境を見直し、物的にも空間的にも計画をたて構成していく。

2. 具体的な実施内容

◎空間づくり

- ・食物アレルギーをもつ園児が増加しており、0歳児は特に安全面に配慮し、食事のスペースと活動スペースとをパーテーションを用いて分割する。



【パーテーションを用いて部屋を分割する】

- おもちゃ棚を有効的に配置し、ままごとをしてあそべるスペース、机上あそびのスペースなどに分けし、それぞれのあそびを集中して遊べるようにする。
また、おもちゃ棚に入れる玩具は、子ども達の関心や発達に合わせて、定期的に入れ替え、自ら玩具を選び主体的にあそべるようにする。



【発達や関心にあわせた内容に】



【棚を活用したコーナー割り】



【お店屋さんごっこの様子】



【ままごとの様子】

- 正方形の机を配置し、4人であそぶカードゲームなど自主的にあそべるようにし、協調性や社会性を育めるようにする。



【カードゲームの様子】

◎保育教材の充実

- ・楽器あそびを通して色々な音に触れ感性を育み、他児と一緒に奏でることで共感性を高める。



【生活発表会の様子】



【保育教諭によるハンドベル】

- ・絵本、紙芝居、エプロンシアター、パネルシアターの世界に接することによって、言葉の豊かさを伝え、音の響き、語感、表現の豊かさや面白さなど、言葉に対する感受性を育てていく。また、集団で見ることにより子ども同士の相互作用と友だちと場と時を共有する喜びを感じられるようにし、より一層、物語の世界観を豊かにさせ想像力を育てていく。



【大型絵本の読み聞かせ】



【エプロンシアター】

3. その成果と評価

◎空間づくり

- ・パーテーションを配置したことにより、生活リズムが異なる0歳児一人一人に合わせて個別保育が行いやすくなったとともに、保育室を活動スペースと食事スペースとに2分割したことにより、食事スペースは、衛生的でかつ食物アレルギーをもつ園児に対しても安心して食事を提供することができるようになった。
- また、十分な活動スペースを確保したことにより、保育室内を自由に移動でき、はう、立つ、つたい歩き、一人歩きなど、その時々それぞれの動きや姿勢を十分に経験することができた。また、身近な環境に自発的に働きかける意欲も高められたように感じる。

◎保育教材の充実

- ・楽器が増えたことにより、音への興味を広げ楽器を奏でる心地よさや楽しさなど、音楽に親しむ心を育むことができた。
また、友だちと同じ楽器で、拍子やリズムを打ったり奏でたりすることにより共感性を高め、一つの曲を協力して作っていく楽しさを十分に味わうことができ、楽器あそびを通して、表現することの楽しさを知り豊かな感性を育める機会となった。
- ・各クラスで年齢や季節、興味にあわせて紙芝居やエプロンシアターを使い、それぞれの持つ世界観や疑似体験を通して想像力を育む機会を多くもつことができた。
大型絵本やパネルシアターなどは、全園児が集まって催すお楽しみ会などで使用し、子ども同士の相互作用と友だちと場と時間を共有する喜びを感じられる機会となっている。

4. 今後の課題と展望

◎空間づくり

- ・パーテーションをさらに活用し、つたい歩きがしやすいように工夫したり発達に合わせた玩具を取り付けたりするなどし、分けするだけのものではなく、子どもの発達を助長できる保育アイテムとしても活用していきたい。

◎保育教材の充実

- ・楽器あそびは生活発表会に向けて活動する傾向があるので、今まで以上に保育教諭等と一緒に美しい音楽を聴いたり、友達と共に楽器を演奏したり、年間を通して楽器あそびを行い園児の様々な音楽にかかわる活動を豊かにしていきたい。
- ・今後も絵本などを見る機会を多くもち、登場人物の気持ちを読み取る力や、言葉に対する感受性、物語の世界観を豊かにし想像力を育んでいきたい。
そのためには、絵本を読む環境を整え雰囲気や大事にするとともに、保育教諭が読み聞かせの技術を磨く必要があるので研鑽を積んでいきたい。
また、子ども達自身が自発的に絵本の世界観をあそびに取り入れて、友達と一緒に感じたことや考えたことなど工夫したりしながら次のあそびへと展開してあそんでいけるように援助していきたい。

◎生きる力を養うために

- ・保育環境は一定ではなく年齢や子どもの発達や興味に合わせて変化していくので、今後も子どもの姿をしっかりと捉えながら保育環境を整えていき、日々の生活の中で、人間形成の基礎となる豊かな心情、物事に自分から関わろうとする意欲や健全な生活を営むために必要な態度が培われるようにしていきたい。

以上